

水戸ファンドラップ・マンスリーレポート <要約版>

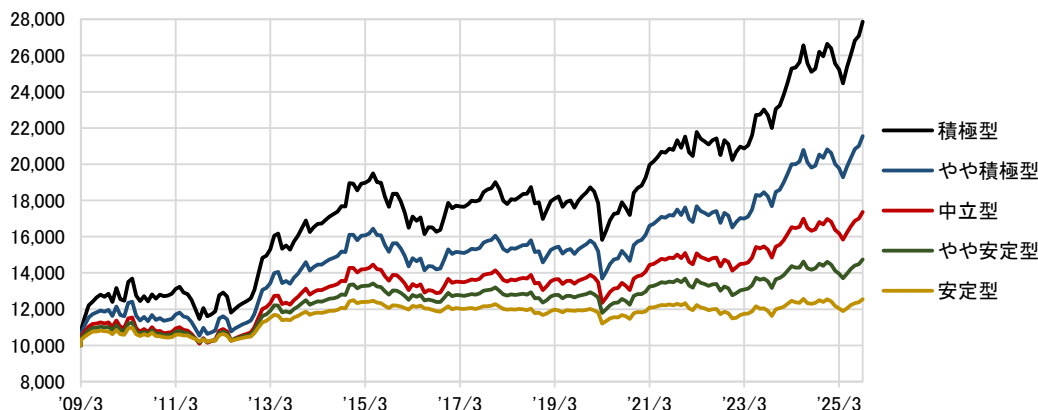


運用状況

基準日: 2025年9月30日

■ 運用パフォーマンス推移 (試算値)

2009/03/02=10,000として指数化



月間騰落率	
積極型	+2.91%
やや積極型	+2.56%
中立型	+2.18%
やや安定型	+1.80%
安定型	+1.43%
より積極型	+3.60%

(注1) 掲載データは試算値であり、実際の運用とは異なります。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

(注2) 報酬体系を5千万円以下のAタイプ(税込)として試算。長期保有割引は考慮していません。

(注3) 1、4、7、10月に固定報酬が引き落としとなります。(注4) 税金は考慮していません。

(注5) 2025年4月1日サービス開始の<より積極型>は、蓄積過去データが少ないため、グラフには表示していません。(出所) Bloomberg、QUICKより水戸証券作成

■ 採用ファンド騰落率

	8月末	9月末	月間騰落率
国内株式	51,354 円	52,875 円	+2.96%
国内債券	10,098 円	10,088 円	▲0.10%
先進国株式	112,900 円	116,993 円	+3.63%
先進国債券	20,642 円	21,027 円	+1.87%
新興国株式	20,996 円	23,043 円	+9.75%
新興国債券	39,348 円	40,578 円	+3.13%
ワールドリート	15,832 円	15,965 円	+0.84%
コモディティ	15,418 円	15,866 円	+2.91%
ドル・円	147.05 円	147.90 円	+0.58%

■ 目標配分比率 (TAA)

	投資判断 (SAA比)	
国内株式	中立	国内株式: DIAM国内株式パッシブ・ファンド
国内債券	中立	国内債券: DIAM国内債券パッシブ・ファンド
先進国株式	中立	先進国株式: DIAM外国株式パッシブ・ファンド
先進国債券	中立	先進国債券: DIAM外国債券パッシブ・ファンド
新興国株式	中立	新興国株式: シュローダー・エマージング株式ファンド(1年決算型)
新興国債券	中立	新興国債券: エマージング・ソブリン・オープン(1年決算型)
ワールドリート	中立	ワールドリート: グローバル・リート・アクティブ
コモディティ	中立	コモディティ: DIAMコモディティパッシブ・ファンド

(注1) 年1回の長期的な相場見通しに基づいた基本配分比率(SAA)に加え、短・中期的な相場見通しに基づいた配分比率の変更(TAA)を随時行います。

(注2) 目標配分比率は基準日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

投資環境

- ◆日米欧の金融政策が三者三様となっています。米FRB（連邦準備制度理事会）は9月会合で、昨年12月以来6会合ぶりに、利下げに踏み切りました。参加者の見通しでは、年内の追加利下げが見込まれています。一方、欧州中央銀行は、昨年6月から継続してきた利下げを今年7月に停止し、9月も2会合連続で主要政策金利を据え置きました。対して日本銀行は、9月会合で政策金利据え置きを決定しましたが、委員2人が利上げを主張するなど、利上げ観測が高まっています。日米欧の金融政策の方向性の違いが明確になりつつあり、注目が一層集まります。
- ◆自民党総裁選が実施され、高市氏が新総裁に選出されました。少数与党下での政策運営を迫られる見通しですが、野党を連立に加えることに意欲を示しています。また、「積極財政」を鮮明にし、ガソリン減税の早期実現や赤字企業の賃上げ支援、政府と日銀の連携等に意欲を示す一方、消費税減税は「選択肢から排除しない」と述べるにとどめ、慎重な姿勢を堅持しています。今後の動向に要注目です。
- ◆9月に発表された先進国のインフレ率（CPI）は、米国では伸びが加速した一方、日本では伸びが鈍化しました。欧州、英国では横ばいとなりました。
- ◆9月の主要国の金融政策では、米FRB（連邦準備制度理事会）は政策金利を引き下げました。欧州中央銀行、英イングランド銀行、日本銀行は政策金利を据え置きました。

(注) 上記の内容は10月6日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※詳細は、<全体版>のマンスリーレポートをご参照下さい。

【審査部審査番号 2510030号】

※最終ページの重要な注意事項(リスクについて、手数料について等)をご覧ください。





「水戸ファンドラップ」のリスクおよび手数料について

【リスクについて】

- ・「水戸ファンドラップ」は、投資一任契約に基づき有価証券等に投資する取引です。運用成績は、投資一任契約に基づき運用される有価証券等の価格変動に応じて変化します。
- ・「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託は、主に株式および債券等値動きのある証券(外貨建て証券は為替リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特にエマージング市場等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えることがあります。したがって、投資元本が保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、運用における損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。
- ・資料に示された過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

【手数料について】

- ・「水戸ファンドラップ」は、運用資産残高に応じて、定期的に報酬(手数料)をご負担いただきます。報酬の体系には、「Aタイプ(固定報酬のみ)」と「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」の2つがあり、ご契約の際、お客さまに選択していただきます。
- ・「Aタイプ(固定報酬のみ)」: 残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大2.090%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」: 固定報酬については、残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大1.567%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。成功報酬については、成功報酬評価基準日での収益相当金額に対し11.0%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・上記以外に、「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託の信託報酬として、純資産総額に対し最大で1.7908%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。また、換金時の基準価額に対し最大0.5%を乗じた額の信託財産留保額をご負担していただく場合があります。さらに、運用状況に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要になりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。

※ リスク・手数料についての詳細は、ご契約に際しあらかじめまたは同時にお渡しする「約款・規定集」、「契約締結前交付書面(A)」、「水戸ファンドラップ契約締結前交付書面」、「水戸ファンドラップ口座約款」、「水戸ファンドラップ投資一任契約約款」、「各投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

水戸証券株式会社

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

- ・当資料は、当社(水戸証券株式会社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。投資にあたりましては、ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性や完全性、将来の運用成績について保証するものではありません。また、内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

Humanilation—信頼のきずな

